

都市型観光の振興

現状と課題

都市の集客力を高め、にぎわいを創出するためには、個性的で魅力的な既存観光資源を有効に活用しながらPRとネットワーク化を進め、もてなしの仕組みづくりを強化する必要があります。

本市には、六甲山系の豊かな緑や臨海部のウォーターフロントをはじめ夙川、武庫川などの恵まれた自然、甲子園球場や西宮神社、西宮郷・今津郷の酒蔵地帯、新西宮ヨットハーバーなど知名度の高い集客スポットだけでなく、北部の武田尾温泉や甲山森林公園、博物館・美術館・芸術ホールなどの集客資源も豊富にあります。

近年では、工場や工房などを見学する産業観光が注目されていますが、本市ではさらに産業活動を観光に結びつけた都市型観光事業に取り組み、和洋菓子や日本酒、フレンチ・イタリアレストラン、生花店などの振興をテーマに様々な事業を行っています。

既存の観光資源を現在推進している都市型観光事業に結びつけ、意欲ある事業者団体と連携しながら、内外への情報発信やソフト面での充実を図り、まちのにぎわいを創出していくことが必要となっています。



酒ぐらルネサンス



洋菓子園遊会



和菓子まつり

基本方針

既存の観光資源を、産業活動に結びつけた都市型観光事業の推進を図り、もてなしの仕組みづくりを強化することで、集客力の向上とまちのにぎわいづくりを進めます。

主要な施策展開

(1) 観光資源のネットワーク化

既存の観光資源の見直し、掘り起こしを行い、活用を図るとともに、これらの回遊性を高めるため、観光サインの設置や周遊マップの整備などにより観光資源のネットワーク化を図ります。

(2) 都市型観光事業の推進

観光資源を生かした各種イベントを開催するとともに、レストランや工場での音楽イベントなど、文化芸術等と地場産業が一体となったまちのにぎわいづくりに結びつく取組みを支援します。さらに、「西宮ブランド」となる新たな物産、サービスなどの開発を促す取組みを支援します。

(3) 観光情報の提供

西宮観光協会と連携しながら、観光情報の収集、整理を進め、ガイドマップやインターネット、地域ポータルサイトなどを活用した情報発信の充実に努めるとともに、市内主要駅等での観光拠点の設置を検討します。また、歴史、文化や観光施設のガイドができるボランティアの育成を図り、市民参加型の観光PRを進めます。

市民一人ひとりの活動

自らが、わがまち“西宮”の魅力を感じ、観光客をはじめ訪れる人々に対してもてなしの心を持って、その魅力をそれぞれの方法で紹介する。

まちづくり指標

< 指標の考え方 >

都市型観光事業の推進により、もてなしの担い手となる市民も含め内外からの来訪者の増加を図るため、観光客総入込客数の増加を重点指標に位置付けます。また、観光資源のネットワーク化ともてなしの仕組みづくりの進捗状況を表す指標を設定し取り組みます。

重点	指標名	単位	現状値 (H18)	目標値 (H30)	指標方向
	観光客総入込客数	千人	11,930	13,000	▲
		式	-		
	H30目標値の設定理由 観光資源のPRとネットワーク化による増加見込みをもとに設定				
	ボランティアガイドの育成数	人	17	50	▲
		式	-		
	H30目標値の設定理由 複数の団体によるガイド数の増加見込みをもとに設定				
	地域ポータルサイトの日平均ビクターアクセス数	件	4,702 (H19)	30,000	▲
		式	総アクセス数/日		
	H30目標値の設定理由 内容の充実及び地域性による差別化からの増加見込みをもとに設定				

主な部門別計画

西宮市産業振興計画

【市民局：平成18年7月～平成24年3月】